



主要な農作物の生育情報

平成28年度 第7号

(平成28年10月5日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

農業総合センター調査の成熟期は、本部（郡山）で平年より遅れましたが、それ以外は平年並から早まりました。

県内の刈取作業は、降雨が続いたことから始期が平年より遅れており、9月30日現在の進捗率は11%で昨年同期（18%）に比べ遅れています（県農林事務所調べ）。

表1 水稲主要品種の成熟期と登熟日数（農業総合センター）

場 所	品 種	田植日 (月日)	成熟期			登熟日数		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (日)	平年 (日)	平年差 (日)
本 部 (郡 山)	ひとめぼれ	5. 2	9. 16	9. 9	+ 7	44	39	+ 5
	天のつぶ	5. 2	9. 19	9. 12	+ 7	46	41	+ 5
	コシヒカリ	5. 2	9. 27	9. 24	+ 3	47	48	- 1
	ひとめぼれ	5. 16	9. 24	9. 17	+ 7	48	45	+ 3
	天のつぶ	5. 16	9. 26	9. 19	+ 7	48	44	+ 4
	コシヒカリ	5. 16	10. 2	9. 29	+ 3	46	48	- 2
会津地域研究所 (会津坂下)	ひとめぼれ	5. 20	9. 10	9. 12	- 2	40	41	- 1
	コシヒカリ	5. 20	9. 18	9. 20	- 2	44	44	±0
浜地域研究所 (相 馬)	ひとめぼれ	5. 10	9. 9	9. 12	- 3	39	41	- 2
	コシヒカリ	5. 10	9. 26	9. 26	±0	48	48	±0

【野 菜】

1 ブロッコリー

定植は平年並の8月上旬から下旬にかけて行われました。収穫は平年並の9月下旬から始まり、10月中旬から下旬にピークになる見込みです。

病害虫は、軟腐病が発生しているほ場が見られます。

2 秋冬ニラ

1年株、2年株ともに8月中旬以降の降雨等により、分けつ数、草丈、葉数は前年より確保されています。2年株の捨て刈りは平年並の10月中旬から、収穫は11月上旬からの見込みです。また、1年株の捨て刈りは10月下旬から、収穫は11月中旬頃と見込まれます。

3 いちご

普通育苗での花芽分化は9月5日頃に確認され、定植作業は平年並の9月上旬から順次行われました。寡照の影響によりやや弱く生育しているほ場も見られますが、概ね順調に生育しており、現在マルチがけが平年並に行われています。収穫は、11月中下旬頃から始まる見込みです。

4 夏秋トマト

9月の寡照の影響により、現在の収穫量は平年より少なくなっていますが、主枝の摘心作業が平年並の9月中旬から行われ、収穫は10月下旬から11月上旬頃まで行われる見込みです。

【果 樹】

1 りんご

ア 果実肥大（果樹研究所 10月3日現在）

暦日比較では「ふじ」の縦径は102%、横径が106%と平年より大きく、満開後日数でも大きい状況です。

イ 果実成熟

「ふじ」の成熟は、硬度が14.0ポンドで平年より低く、デンプン指数は3.4で消失は平年よりやや進んでいる状況です。

【花 き】

1 ストック

年内出荷の定植は、平年並の8月下旬から9月上旬にかけて順次行われ、順調に生育しています。出荷は10月下旬からはじまる見込みです。

2 シクラメン

9月中旬からの日照不足によりやや徒長気味に生育しているほ場も見られますが、概ね順調に生育しています。出荷は平年並の10月下旬から始まる見込みです。

【飼料作物】

1 牧草

9月下旬から3番草の収穫が行われています。寡照の影響により一部地域では収穫作業の遅れも見られますが、収量は平年並の見込みです。

2 飼料用とうもろこし

9月下旬に収穫最盛期を迎え、収量は平年並の見込みです。

3 W C S用稲

一部の地域で収穫作業の遅れも見られますが、収量は平年並となる見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作に注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>